

「旅の安全の日」危機管理 模擬訓練 実施概要

① JATA共通模擬訓練参加用

(国内・訪日・海外共通)

I. 実施目的

1. 旅行業界における「安心安全」への意識高揚
2. 旅行安全マネジメントの緊急体制の確認と訓練
3. 旅行保険加入促進

II. エントリーについて

1. 「旅の安全の日Week」として、7/1～7の期間でいずれか1日での実施とする。
2. 模擬訓練への参加方法については、以下の①～③よりいずれか一つを選択する。
 - ① 7月1日（水）にJATA共通模擬訓練に参加する
 - ② 7月1日（水）～7日（火）の期間内に各社独自のシミュレーションを設定し、模擬訓練を実施。
 - ③ 実施期間外に各社独自のシミュレーションを設定し、模擬訓練を実施する
3. 社内事情により期間内に実施困難な場合は、7月中及び他月の実施予定日を報告。
4. 自社で定期的に模擬訓練を実施していて、加重実施が不可能な場合はその旨を報告。
5. エントリーにおいては、各社取扱に応じ、国内・訪日・海外の3部門別に各社参加部門を選択。
※ 他月に実施の会社についても、集約・報告を頂く。

昨年実施の「旅行安全マネジメントセミナー」にて、『旅の安全の日に備えて準備すること』のセミナーがありました。アーカイブで視聴可能ですので、必ず事前にご視聴ください。

<https://youtu.be/vKg85UOSGtM>

III. 緊急連絡体制確認概要

1. 緊急連絡体制は、事故発生を想定し、必ず一巡させる。
2. 番号が変更されていないか、常時電源が入っているかを確認し、必要に応じ修正する。
3. 緊急連絡体制一巡に要した時間、対象とされる社員数を報告。
4. 国内旅行・海外旅行・訪日旅行の緊急連絡体制が別の場合は、体制ごとに報告。

IV. お客様安全確認集約概要（詳細は改めて申し込んだ会社宛にお送りします）

1. 旅行業種 全旅行業種
2. 旅行形態 募集型企画旅行・受注型企画旅行・手配旅行は任意
3. シミュレーション JATAにて設定（7月1日にJATAより発報するメールに記載）
4. 対象都市 JATAにて設定（7月1日にJATAより発報するメールに記載）
5. 確認内容 滞在者数のみ報告か、安否確認まで行うかは各社の裁量とする。

V. 模擬訓練実施後について

訓練実施後は、人数報告だけでなく、各社で検証した課題や問題点をまとめ、現状の安全管理体制や次回の模擬訓練に活かしていきます。

また訓練参加会社は、JATAホームページに掲載予定です。

VI. スケジュール

- 5月18日 「旅行安全マネジメントセミナー」にて『旅行安全マネジメント体制構築のポイント』をレクチャー
 5～6月 『旅の安全の日』模擬訓練アンケート・エントリーシート』において、
 国内・訪日・海外の3部門にてエントリーを集約（締め切り6/12）。訓練概要案内。
 6月下旬 エントリーした会社に対し、実施要綱を案内。
 7月 1日（水） 模擬訓練実施
 実施後 課題・問題点 集約検証

VII. 危機管理訓練フロー（7/1）と実施内容

<実施内容の要否>

	実施内容	必ず実施	任意実施	JATA
①	当日朝、JATAより訓練実施案内			○
②	各社にて対策本部設置		○	
③	緊急連絡網 発信	◎		
④	現地情報収集・安否確認		○	
⑤	滞在者数確認	◎		
⑥	取扱支店へ家族対応指示			
⑦	滞在者数報告（問題点・課題報告）	◎		
⑧	滞在者数集約（問題点・課題集約）			○
⑨	JATAより観光庁・外務省へ報告			○

不要

